

科目名[英文名]	技術経営論入門A [Introduction to Management of TechnologyA] …Q 1 技術経営論入門B [Introduction to Management of TechnologyB] …Q 2			
開講期 曜日・時限	Q 1 (4/ 6～6/1) 4 限目(15:00-16:30) Q 2 (6/15～8/3) 5 限目(16:45-18:15)	火曜日	自然科学大講義棟 AV講義室	
コーディネーター	木綿 隆弘 森本 章治	E-mail: kiwata@se.kanazawa-u.ac.jp E-mail: amorimot@ec.t.kanazawa-u.ac.jp		
担当講師陣	[氏名] 川上 文清 田中 一郎 西山 貞雄 紙本 伸明 喜多 健太 太田 貴章 吉田 真弓 目片 強司 伊藤 広 金山 義男 吉川 智雄 小松 武志	[所属] B & I サポート・代表 金沢大学名誉教授 元ユニバーサル製缶(株) 常務取締役・社長補佐、金沢大学客員教授 紙本技研(株) 代表取締役 金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 特任助教 BS 国際特許事務所 弁理士 (有) 金沢大学ティ・エル・オー(KUTLO) ライセンシング・アソシエイト 金沢大学 先端科学・社会共創推進機構 准教授 E I Z O株式会社 知的財産部 知的財産課・課長 NECソリューションイノベータ 北陸支社・新規事業推進G シニアプロフェッショナル (株) ソフトクリエイティブホールディングス 執行役員 NTT先端集積デバイス研究所 ソーシャルデバイス基盤研究部グリーンマテリアル研究グループ グループリーダー、 金沢大学連携講座客員准教授		
キーワード	MOT, 産学連携, マーケティング, 特許制度, 知財管理			

◆授業の主題・目標

本講義は、MOTコースの中でのイントロダクションとしての位置づけとなります。技術経営(MOT)とは何か、その必要性からはじめ、その背景、構成する基礎分野、応用など事例紹介も交えて興味深く紹介し、技術経営学を学ぶ動機付けになることを目指します。また、特許活用、知財マネジメント、技術開発投資、技術移転などの知財関係に重点を置いています。

◆テキスト・参考書・教材等

教科書：特にありません。必要に応じて講義時に各講師から講義資料を配付します。

◆成績評価の方法

レポート(80%)、ミニッツペーパー(20%)で評価します。

◆コーディネーターから受講生へのメッセージ

本科目「技術経営論入門A」及び「技術経営論入門B」はMOTコースの4科目の中心的基礎をなす入門編です。講師陣には技術マネジメント教育の専門家を中心に、化学・素材・電機メーカなどの技術開発、研究など第一線で活躍してきた実績と経験のある学内外の講師、特許事務所を経営する弁理士など、多彩な講師陣が、実例を豊富に取り入れて分かりやすい技術経営論を展開します。

◆授業の概要

技術経営論入門A

1. 概論Ⅰ（川上）・・・MOTとは何か、科学と技術の違い、研究と開発の違いを解説する。更に企業とは何か、企業での研究・開発・事業化・産業化の流れとそのマネジメント、財務諸表の見方について概説する。
2. 概論Ⅱ（川上）・・・技術系の学生が企業で働くための基礎知識として、損益分岐点分析、知的財産権の基礎、法令順守（コンプライアンス）について概説する。
3. 科学技術政策と先端科学研究・技術動向、最近の技術史Ⅰ（田中）・・・なぜ1990年代に米国に敗れたか。
4. 科学技術政策と先端科学研究・技術動向、最近の技術史Ⅱ（田中）・・・我が国の製造業の特徴を考察し、諸外国との競合関係の中でどのような変容を遂げてきたか、事例を挙げて論じ、今後どのような戦略を採用すべきかについて考える。
5. 開発計画の事例Ⅰ（西山）・・・アルミニウム缶の開発を事例に技術経営を身に着ける。
6. 開発計画の事例Ⅱ（西山）・・・アルミニウム缶の開発を事例に技術経営を身に着ける。
7. 品質評価と企業の危機管理概論Ⅰ（紙本）・・・1個の品質クレームが、企業の存続を左右するほど大きな事件になっている。技術者として如何に確かな品質を持った製品を設計するか、経営者はどのように危機管理に備えるか等々について述べる。
8. 品質評価と企業の危機管理概論Ⅱ（紙本）・・・品質管理技術一般、企業における技術者倫理についても触れる。

技術経営論入門B

1. 知財入門（喜多）・・・身近な発明の紹介から入り、知財権の種類、特許に関する出願権利化手続き、特許要件等基礎知識を学ぶ。
2. 特許調査（太田）・・・知財調査の重要性を知り、J-PlatPatで簡単なキーワード検索ができる様に特許調査の方法を学ぶ。
3. 技術移転（吉田）・・・特許の利活用について理解を深めると共に、技術移転やライセンス契約の概要について本学の例から学ぶ。
4. 研究でのリスク管理（目片）・・・新規性喪失、発明者認定、リサーチツール特許、輸出管理、共同研究など研究を進める上でのリスクを知る。
5. R&Dと知財戦略（伊藤）・・・企業の経営戦略、事業戦略を実現するために重要となるR&D戦略と知財戦略の構築方法について学ぶ。
6. 成熟社会で求められている人財と組織（金山）・・・現代社会で企業が成長し続けるためには、技術力に加え、これを実現する人財、組織が重要となる。本講義では、これからの企業で必要となる人財と組織について学習し、受講者がこれから社会人になっていく上で重要なことを学ぶ。
7. キャリア選択のための企業論（吉川）・・・これからキャリアデザインを構築する学生を対象に、そのために必要な基礎的な知識と、抑えるべきポイントについて解説する。そもそも企業とはどのような存在で、そこで働く、とは何を意味するのか？自らにあった企業を選択し、悔いのない人生を送るためにはどうすればよいのか、失敗から這い上がってきた人の意見も参考にしながら考察する。
8. 技術開発とグローバル競争（小松）・・・R&Dに携わる技術者には、他者にはない競争力に優れたプロダクトの開発が求められている。しかしながら、優れた技術であっても市場で優位なポジションを占めることができない事例が散見される。そこで、講師の専門分野である電池開発等の事例や歴史を参考にしながら、今後のR&Dに必要な方針や施策について学習する。

◇各講義の内容（予定）

	学期	開講日	授 業 題 目	担当講師
A-1	Q 1	4月 6日(火)4限目	概論Ⅰ…MOTとは何か?	川上 文清
A-2	Q 1	4月 13日(火)4限目	概論Ⅱ…MOTとは何か?	川上 文清
A-3	Q 1	4月 20日(火)4限目	科学技術政策と先端科学研究・技術動向, 最近の技術史Ⅰ	田中 一郎
A-4	Q 1	4月 27日(火)4限目	科学技術政策と先端科学研究・技術動向, 最近の技術史Ⅱ	田中 一郎
A-5	Q 1	5月 11日(火)4限目	アルミニウム缶の開発を事例に技術経営を身に着けるⅠ	西山 貞雄
A-6	Q 1	5月 18日(火)4限目	アルミニウム缶の開発を事例に技術経営を身に着けるⅡ	西山 貞雄
A-7	Q 1	5月 25日(火)4限目	品質評価と企業の危機管理概論Ⅰ	紙本 申明
A-8	Q 1	6月 1日(火)4限目	品質評価と企業の危機管理概論Ⅱ	紙本 申明
B-1	Q 2	6月 15日(火)5限目	知財入門	喜多 健太
B-2	Q 2	6月 22日(火)5限目	特許調査	太田 貴章
B-3	Q 2	6月 29日(火)5限目	技術移転	吉田 真弓
B-4	Q 2	7月 6日(火)5限目	研究でのリスク管理	目片 強司
B-5	Q 2	7月 13日(火)5限目	R&D戦略と知財戦略	伊藤 広
B-6	Q 2	7月 20日(火)5限目	成熟社会で求められている人財と組織	金山 義男
B-7	Q 2	7月 27日(火)5限目	キャリア選択のための企業論	吉川 智雄
B-8	Q 2	8月 3日(火)5限目	技術開発とグローバル競争	小松 武志